

かわにし

議会だより

第143号

2020

10.15



川西町議会H.P
QRコード

ずっしり
重いぞ

P23に関連記事 犬川小学校稲刈

元年度決算 財政指数は「健全」と判断	2
7議員が町政をただす	12
追跡 国道287号バイパス	24
がんばる川西⑤ 川西ラッキースターズ	27

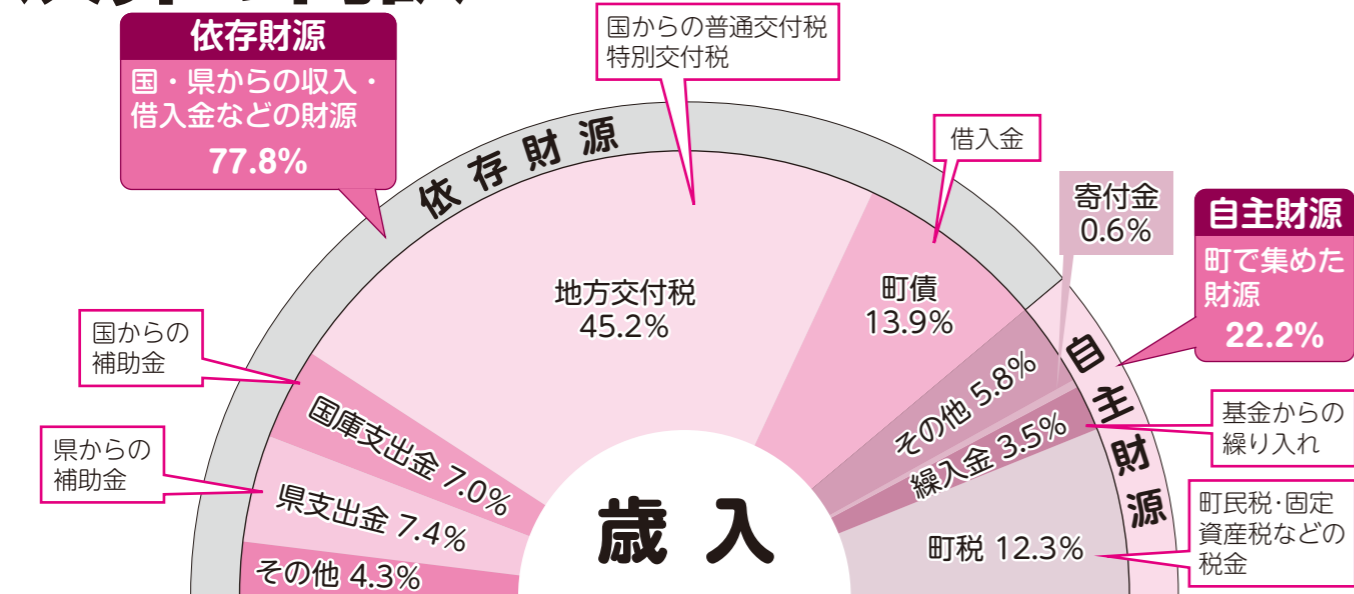
財政指標は「健全」と判断

と判断

令和元年度
決算

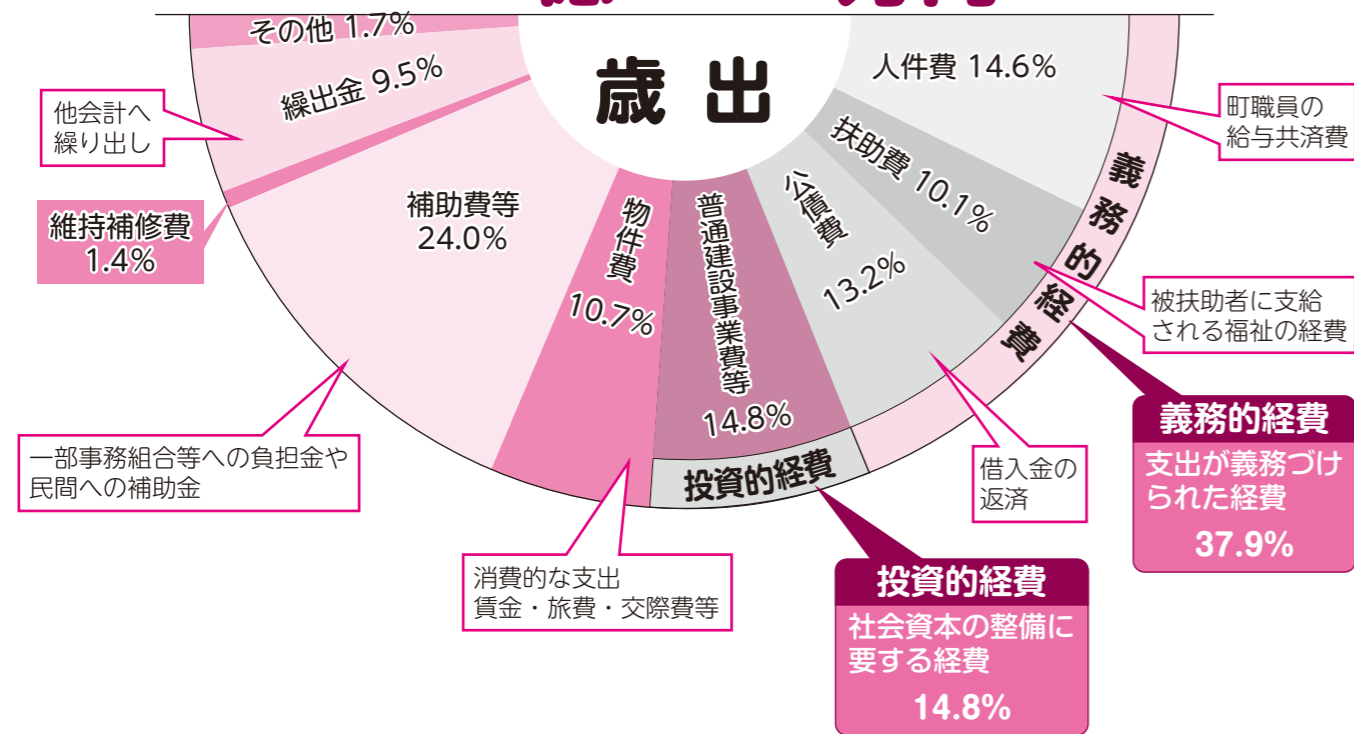
9月
定例会

決算の内訳



一般会計

110億4707万円
107億7919万円



令和元年度主な事業

- ①新庁舎整備 7億2758万円
- ②メディカルタウン整備事業 315万円
- ③虚空蔵山西線道路改良工事 3333万円
- ④坂水萩野線道路改良工事 3952万円

令和元年度決算の特徴は次のとおりである。

①一般会計の歳入総額は1億10億4707万3千円、歳出総額は1億79億3万6千円となった。歳入歳出差し引きは2億6787万5千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源146万3千円を差し引いた実質収支は2億6641万2千円となった。また、令和元年度の実質単年度収支

は1793万6千円の黒字となった。

②最大財源の地方交付税は49億9048万円で、置賜広域病院企業団分を差し引いた本町純粋分は36億7586万円、前年度比8548万2千円の増額となった。

③借入金残高は増加したが、財政健全化法に基づく財政指標（5ページ参照）は、国の指標をクリアしており

「健全」と判断。

④大規模な投資的事業により町債残高が増加し、その負担が大きなウエイトを占めている。

⑤財政規律を保ちつつ未来を見据えた財政計画の下、「川西未来ビジョン」（第5次総合計画）の基本目標として掲げた「夢と愛を未来につなぐまち」の実現を目指すとしている。

議会はさらなる財政健全化を求めている。

基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金	庁舎建設基金
平成26年度	7億4044万円	2億6456万円	0
平成27年度	7億9562万円	2億6846万円	1億6000万円
平成28年度	6億3456万円	1億2226万円	3億1005万円
平成29年度	4億7642万円	2608万円	4億1007万円
平成30年度	3億5996万円	989万円	4億4459万円
令和元年度	2億2167万円	1369万円	3億9696万円

議会「将来見据えた財政計画を」

9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月2日から18日までの17日間の会期で開催された。

第1日目に、人事2件に同意、令和元年度一般会計等健全化判断比率等報告2件の後、条例2件、字名変更1件、および令和2年度各会計補正予算6件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。

また、令和元年度各会計決算認定7件を一括上程し、第3日目に決算特別委員会に付託した。

第2、3日目に、7人の議員が一般質問を行い、7月豪雨災害対策、除雪業務経費の見直し等について町政をたじた。

第3日目を以降、常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会分科会を開催し、議案を審議した。

最終日に、人事1件、付託した条例、補正予算、決算認定を原案通り可決した後、追加の請負契約の締結を可決し閉会した。今期定例会の傍聴者は14人だった。

令和元年度 会計決算で討論

決算 審議

反対

一般会計

高橋 輝行 議員

水道事業会計

財政の健全化はほど遠い

「議第58号令和元年度一般会計歳入歳出決算認定」に反対する。

単年度収支は黒字となったが、大きな要因は冬場の少雪によるものである。例年2億円を超える除雪費の決算額は1億3600万円で委託料にも満たない決算となった。今にも財政調整基金が枯渇しようとしていた状況を考えれば、まさに幸運としか言いようがない。例年通りの降雪量だった場合どうなっていたのか、運を天に任せるような財政運営は不安でたまらない。

監査委員からは、新庁舎整備やメディカルタウン整備などの大規模な公共施設整備事業により、公債費が増加するため起債管理が重要とある。

今後の事業に要する資金を積立てるなど将来に向けた準備を行う必要があったのではないかと、起債の残高が年々増加し、各種指標にも影響が出はじめている。今後も、過疎対策事業債に頼る事業手法を継続する考えなのか。これでは財政の健全化はほど遠い。

早期に給水管の更新計画策定を

「議第64号令和元年度水道事業会計決算認定」に反対する。

石綿セメント管(アスベスト)約20kmは県内最長、40年以上の塩化ビニール管は約2.5km他約9kmを合わせて約12km、総延長32kmの管路の老朽化が進み、漏水が多発している。

年間1500万円を無駄に捨てている計算になる。早急に給水管の更新計画を策定し、交付金事業に着手すべきである。

水道は、私たちが生活する上で欠かすことのできない重要なインフラであり、町民生活に直結する課題は最優先されるべきである。

ここに暮らす人たちが、満足していない町に他所から人を呼び込めるはずがない。この重要課題に目を背けている現状を容認することはできない。



メディカルタウン計画地 = 西大塚

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審議した。ここで、

は討論、総括質疑、分科会での質疑、町長に対する質疑を要約してお伝えする。

依然として厳しい財政状況
事業の選択と集中で財政運営を

令和元年度各会計決算の議決状況

会計別	歳入	歳出	議決の内容
一般会計	110億4707万円	107億7919万円	賛成多数により認定(反対2)
国民健康保険事業特別会計	17億6975万円	17億5786万円	全員賛成により認定
下水道事業特別会計	5億2032万円	5億955万円	全員賛成により認定
農業集落排水事業特別会計	9133万円	9008万円	全員賛成により認定
介護保険事業特別会計	18億9260万円	18億6541万円	全員賛成により認定
後期高齢者医療特別会計	1億6983万円	1億6827万円	全員賛成により認定

水道事業会計	収益的 ^{※1}	5億848万円	4億5262万円	賛成多数により認定(反対4)
	資本的 ^{※1}	6218万円	※2 2億1446万円	

※1 「収益的」収支は水道水給水の収入と支出 「資本的」収支は水道施設に係る収入と支出

※2 不足する1億5228万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てん。

※2件の反対討論に対する賛成討論はありませんでした

財政指標 令和元年度川西町一般会計等健全化判断比率						
	実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る 資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合	
川西町	-	-	13.10%	134.50%	-	
国の指標	早期健全の基準	14.25%	19.25%	25.00%	350%	20.00%
	財政再建の基準	20.00%	30.00%	35.00%	-	-

※標準財政規模 標準的な税收、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。令和元年度の本町標準財政規模は64億4810万2千円。

総括質疑

「豆の展示会」見直しを

高橋 輝行 議員

高橋 やまがた里の暮らし推進機構には、年間1500万円の助成を行っている。例年12月に東京上野で「豆の展示会」を行っているが、町長後援会幹部が多く参加しており、不要で見直しが必要である。

町長 運営費と事業補助金として支出

総務課長 職員には会議費を支給している。

行財政改革の進捗は

井上 晃一 議員

井上 経営改革プランに基づき、行革が進められているが、町民の将来負担が増加しているのでは。また、浴センターおよびパークゴルフ場の指定管理の在り方はどうか。

住みサービスをしつかりと行うため、組織体制の運営や職員の働き方も考え、公共施設を指定管理として委託し、人件費の削減に繋がり効果がでている。今後、も有利な起債を充当しながら事業を展開していく。

自主財源今後の対応は

橋本 欣一 議員

橋本 本町の財政力指数は0.25(1.0で地方交付税不交付)で非常に弱い。監査意見では自主財源が乏しいとの指摘だが、今後の対応と置賜近隣市町との比較はどうか。各税金の滞納があり、特に国民健康保険税の

収納率が74.0%と低い。今後の収納で多少は向上するだろうが対応は。置賜では飯豊町の0.21について低い、自主財源の確保は重要である。税金の滞納は早期解消に努めたい。

監査意見

起債管理に十分留意を



代表監査委員 島貫 憲明氏

一般会計

經常収支比率92.5%、財政力指数0.250、実質公債費率13.1%となっている。本町財政は、地方交付税への依存度が高く、交付額の多寡によって指標が大きく左右される。今後社会保障関係費の増加が予想される。また、令和元年度一

一般会計における起債発行高はおよそ15億円、起債残高は13.1億円、償還金は14億3千万円という状況にある。今後大規模な公共施設整備により公債費が大幅に増加するため、起債管理に十分留意し財政健全化に努めるよう指摘した。

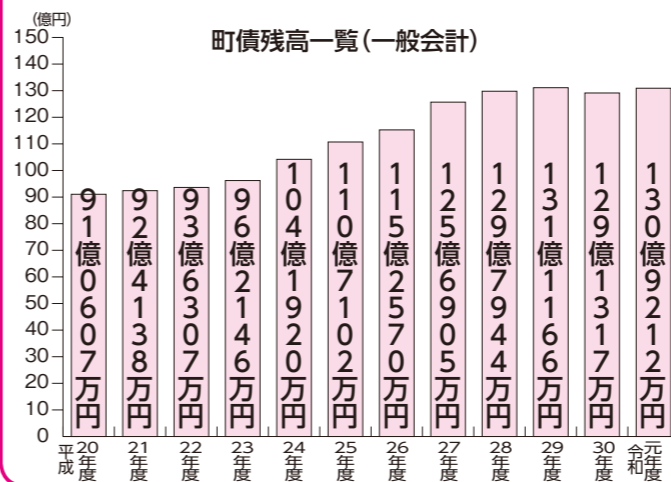
水道事業会計

水道事業の経営環境が厳しくなることから、経費の節減および収納率の向上、未収金対策を強化し、漏水防止対

策や老朽管の更新工事を計画的に進め、良質な水の提供を目指し経営努力をされたい。

ここが知りたい

町債(借入金)の推移



町長に聞く

分科会の決算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた

公共施設の在り方は

問 公共施設の老朽化が目立っている。今後の維持管理について問う。

町長 少子高齢化社会の進行、また厳しい財政状況等が見込まれる中、老朽化が進む公共施設等の全体的状況を把握し、平成28年3月に向こう10年

間の「川西町公共施設等総合管理計画」を策定した。

計画策定後の進捗状況は平成29年度の旧埋蔵文化財資料展示館の除却および玉庭小学校プール改修、30年度の吉島小学校校舎および体育館屋根改修を実施、たまにわ堆肥センターの屋根改修は本年完了した。また、農村環境改善センターは、給水・給湯設備、空調設備、カーペットの張替え、排煙設備等の改修を実施。フレンドリープラザは音響等の設備更新を進めた。現在、各小中学校の冷房設置を進めている。今後は、施設の維持とあわせ、利活用の検討を進め、施設除却等、財源の確保を図りながら適正に進めていく。

意見

計画推進にあたっては、財源確保とともに施設の景観等を十分考慮し対応すること、また施設の将来性等について十分に町民との対話を行うことが必要である。

子育て施設をどうする

問 将来の幼児施設の在り方を問う。

町長 現在、町立施設は4カ所、民間施設も4カ所。このほか認可外2施設で運営されている。

小松保育所は、町立施設の拠点として運営してきたが、施設の老朽化や多様化するニーズへの対応が求められている。また、玉庭へき地保育所は、今年度は入所者がなく休所し

ており、令和3年度も玉庭地区の入所希望者がいないことから、募集を行わない。

民間の小松幼稚園は認定こども園に移行し2歳児の受け入れを開始した。あおぞら保育園は認可保育所に移行、本年度は増築に着手し令和3年度より定員を30名から60名に増員するなど積極的に事業展開している。町立施設については、

少子化の流れは続いており、老朽化等もしていることから、外部の意見等を聞き、再編統合を視野に入れた判断をしていく。現段階では流動的な要素が多い状況だが、できるだけ早く示したいと考えている。

意見

民間施設に対し適切な支援に努めるとともに、外部委員会を設置し、検討を行い、今後の幼児施設の在り方について町の方針策定に早急に取り組むこと。



設備改修した農村環境改善センター



玉庭へき地保育所 今後の在り方は

防災対策事業

避難所の周知徹底を

問 防災対策事業の具体的な事業はどのようなものか。

総務課長 洪水・土砂災害ハザードマップを更新した。避難所等が変更されているので情報を周知徹底すること。

問 町税の課税事務の状況は。

税務課長 課税事務処理を共同処理事業へ委託している。課税誤りを繰り返さないため、システムのチェック体制の強化に努めるように。

問 置賜農業高等学校校連携推進事業での活動実績は。

まちづくり課長 町内農産物を使った加工品開発等である。置賜農業高等学校の魅力化に向けた支援および連携を引き続き図るように。

問 さらなる交通事故防止に向けた体制の充実を。

まちづくり課長 地域づくり活動を実践する2団体に對して補助支援を行った。

意見 今後も継続して事業実施ができるよう、人材の確保に努めるように。

問 交流館管理事業について、利用者の状況は。

生涯学習課長 交流館全体で年間延べ約1万4900人ほどである。

意見 埋蔵文化財資料展示館およびアルカディア人物館については、資料収集並びに既存資料の研究を進め、利用者の拡大につなげていくように。

問 国民健康保険事業特別会計一般被保険者療養給付費が高額なのは。

生涯学習課長 高額治療を要した件数が多かったことが要因である。検診受診による疾病の早期発見・治療、重症化予防事業を推進し、医療費削減に取り組むように。



古い表示を明確に = 中郡小学校

問 企業誘致の状況は。

政策推進課長 工業用地の優位性を図りながら用地の情報提供に努めている。

意見 企業の情報収集を図り、尾長島工業団地への誘致に積極的に取り組むように。

問 交通安全教室の状況は。

生涯学習課長 年間延べ119回の開催である。

問 外国語指導助手配置事業の状況は。

教育総務課長 ALTとして中学生を対象、外国語指導員は小学生対象に英語の授業を行っている。

水道老朽管更新

財源確保に努め進捗を図れ

問 有収率78%とあるが22%はどうなっているのか。

地域整備課長 漏水によるものと推定される。漏水の主な原因は経年劣化によるものであることから、早急に給水管の更新計画を策定し、交付金事業の活用等、財源確保に努め、事業の進捗を図るように。

問 有収率78%とあるが22%はどうなっているのか。

福祉課長 一世帯当たりの助成額は、上限額5000円とする県補助金を活用(県2500円、町2500円)した事業となっている。

意見 町独自に算額を図るように。

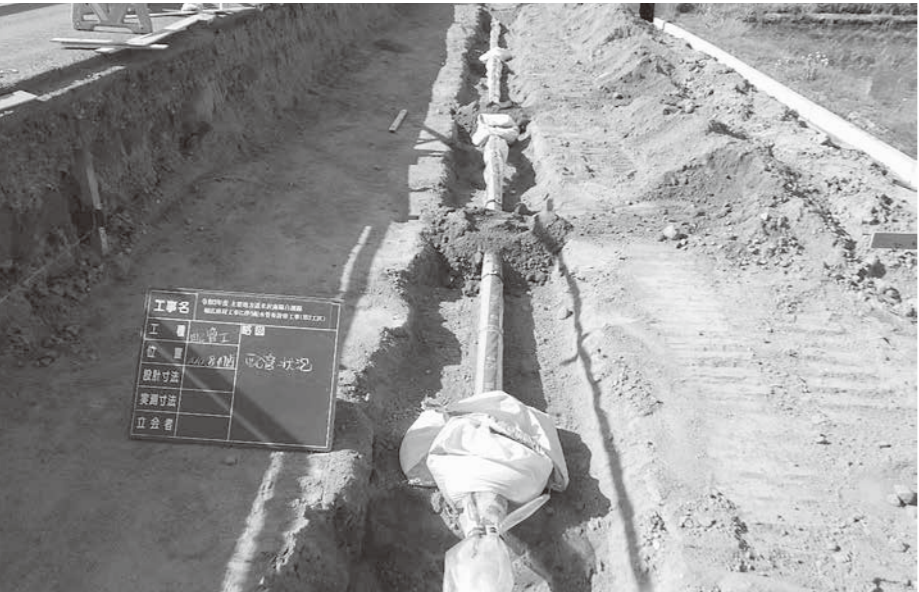
問 広域病院企業団運営負担金の現状は。

福祉課長 建設当時の覚書に基づき算定された本町負担金を支出している。

意見 各構成団体の負担額を病院企業団議会で決算議決後に資料提示するように。

問 福祉灯油助成事業で、一世帯当

問 感染症予防・予防接種事業の状況



老朽管改修工事が進められる = 尾長島

健康子育て課長 定期的な接種と任意的な接種に分けて取り組んでいる。今年度のインフルエンザ予防接種

意見 今年度のインフルエンザ予防接種

問 GAP認証取得支援の状況は。

産業振興課長 日本版(JGAP)認証1件、山形県版(YGAP)認証1団体である。認証品目のさらなる付加価値の向上に向け、今後のブランド展開が図られるように。

問 松枯れ被害が目立ってきている

農地林務課長 被害木の防除を行っている。主要道路沿いの被害木が目立ってきている。年次的に所有者等の権利状況調査を進め、倒木による2次被害の防止及び森林景観の向上を目指すように。

条例

東沢地区交流センター の位置変更

名更 字変

改正の趣旨

東沢地区交流センターの位置を東沢活性化センターに変更し、東沢生活改善センターを廃止するため、関係条例を改正する。

改正の内容

- (1) 交流センター条例の一部改正
- ・位置を活性化センターに変更する。
- (2) 教育施設等の使用に関する一部改正
- ・生活改善センターの記載を削る。
- (3) 農業振興センター条例の一部改正
- ・生活改善センターの記載を削る。

令和3年4月1日から施行する。

給与条例の一部改正

一般職職員の特殊勤務手当中、防疫等作業手当については、家畜伝染病予防法に規定されている家畜伝染病に対する防疫作業を支給対象としているが、国際的な名称の使用実態等に鑑みた家畜伝染病の名称変更のための法

改正がなされたことを受け、当該条例の改正を行うもの。

法の規定と同一にするため、次のとおりに変更する。

- 「ブルセラ病」を「ブルセラ症」に変更
- 「結核病」を「結核」に変更

公布の日から施行する。

全員賛成により可決

全員賛成により可決



交流センターとなる東沢活性化センター

宮地地区

字の区域及び名称変更

県営土地改良事業宮地地区の実施に伴い、土地改良法の規定により従来の字界を変更する。

換地処分の公告があった日の翌日からその効力を生じる。

全員賛成により可決

臨時会

豪雨災害に対応 新型コロナウイルス交付金(第3弾)



7月豪雨災害冠水状況 = 洲島地内

全員賛成により可決

ある。

○議第57号川西町商工業振興資金融資制度基金条例の設定

川西町商工業振興資金融資制度基金条例(設置)第1条 町内の中小企業者(小規模事業者及び個人事業者を含む。)のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障をきたし、山形県商工業振興資金融資制度中地域経済変動対策資金を利用した者に対して実施する支援事業の財源に充てるため、川西町商工業振興資金融資制度基金(以下「基金」という。)を設置

全員賛成により可決

する。

(積立額) 第2条 基金として積み立てる額は、国から交付される新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を基に予算で定める額とする。

(管理) 第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有効な方法により保管しなければならない。

全員賛成により可決

必要がある場合に限り、その全部又は一部を処分することができる。

(委任) 第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理及び運用に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附則
この条例は、公布の日から施行する。

全員賛成により可決

○議第56号一般会計補正予算(第5号) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(第3弾)。事業費総額4億3137万9千円。

内容は人件費179万9千円。補助費等11億2597万円。物件費等6億8372万2千円。扶助費等2億74万円。普通建設事業費(単独)7億1711万8千円。商工業振興資金融資制度基金積立金4743万円。

8月21日臨時会が開催され、7月28・29日の豪雨災害に対する予算専決処分の承認。商工業振興資金融資制度基金条例設定。コロナ対策関連補正予算の3議案が上程され、審議された。

○議第55号一般会計補正予算(第4号) 専決処分の承認 農業施設災害復旧事業900万円。民有林林道災害復旧事業499万9千円。公共土木施設災害復旧事業1540万円。

いずれも測量委託費で



コロナ感染症対策 = フレンドリープラザ

環境

CO₂排出量ゼロを目指す取り組みは

町長 ー 第4次環境基本計画で検討を行い進める

神村 異常気象が地球規模で毎年のように発生している。その大きな要因が二酸化炭素による地球温暖化と言われている。国際的にも実質ゼロを目指す取り組みが喫緊の課題となっている。山形県も2050年に二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050宣言」を行った。本町でもゼロ宣言を行う計画はないか。

町長 今年度は、第3次川西町環境基本計画最終年度となり、令和3年度からの第4次川西町環境基本計画

に向けてアンケート調査を実施し、推進本部会策定ワーキングチーム会議で検討を行いながら策定を進めている。

神村 再生可能エネルギーには風力発電、太陽光発電、水力発電、バイオマス発電等がある。町内では、大規模太陽光発電システムの工事が行われている。そうした中で注目するのは、小規模事業者や個人が自ら発電して使用できる、農業用水路を生かした小水力発電である。地元資源を有効に使い、地域内にエネルギーを還元するもので、地域活

性の起爆剤にできるのでは。

町長 小水力発電は天候に左右されにくいメリットがあるが、本町は緩やかな地形が多く流水量が季節的に変動するため、安定した水量を確保できる適地が見いだせない。今後、技術開発が進み発電能力が向上する可能性もあり研究していきたい。

神村 社会の高齢化が進み認知症への恐れが一段と加速している。国の調査では、

2025年には65歳以上の5人に1人が認知症を発症すると推計される。認知症は根本的な予防法や治療法は見つかっていないとされているが、対策として有効なのは生活改善の取り組みであるとも言われている。①健康な食生活②適度な運動③脳を活性化する趣味④地域の仲間づくり。これらを実践することで

あるが、認知症発症を少なくする手だてをどのように考えるか。

町長 国が示す認知症施策推進総合戦略及び認知症施策推進本部大綱に基づき、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても安心して暮らせる社会を目指し、「共生と予防」を車の両輪として施策を推進している。



神村建二 議員



ソーラー発電変電施設(東陽寺前)

ここが聞きたい!

町政をただす

一般質問

7人の議員が一般質問



定例会第2日目と3日目に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問しました。通告順(発言順)に掲載します。

P13 環境	神村 建二 議員 ① CO ₂ 排出量ゼロを目指す取り組みは ② 認知症発症を少なくする手だては	P17 鳥獣害	吉村 徹 議員 ① 鳥獣被害の状況と対策は ② 7月の豪雨災害対策は
P14 SDGs	橋本 欣一 議員 ① 総合後期計画にSDGsの取り入れを ② 高齢者福祉・介護保険事業計画は	P18 除雪	伊藤 寿郎 議員 ① 除雪業務経費の見直しを ② 地域防災計画にタイムラインの導入を ③ 地域おこし協力隊の活用と育成を図れ
P15 中心街	渡部 秀一 議員 ① より良い中心街の形成を目指して	P19 町長選	高橋 輝行 議員 ① 今春の町長選挙では ② 昨年の統一地方選挙の対応は ③ 虚空蔵山西線の進捗状況は ④ 新設の障害者グループホーム
P16 消防	寒河江 司 議員 ① 消防団の活動範囲をどこまで求めるか ② 品なし寄付のふるさと納税は		

⑤抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかった。その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。(http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

一般質問とは
一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。
質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。
また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。
再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

中心街

より良い中心街の形成を目指して

町長 — 総合的かつ長期的視点に立って進める

町長 「川西町役場跡地」に基つき、小松地区交流センターを核とした地域づくりの拠点整備に向け、新たな検討体制を組織して、施設の配置や整備手法と財源の研究など、事業の実施に向けて具体的事項を定める、川西町役場跡地活用計画の策定に着手した。計画を重ね庁内に組織した「川西町役場跡地利

町長 「川西町役場跡地活用計画推進委員会」と連携し今年12月の策定を予定している。
渡部 委員は、どのような基準および条件で選出されたのか。
町長 委員の人数については、整備の核となる小松地区交流センターの運営主体である小松地区地域振興協議会を中心に、中央公民館を利用している社会教育団体や小松地区でさまざまな活動に参画している方など14人の委員を選考した。

町長 活用計画推進委員会と連携し今年12月の策定を予定している。
渡部 委員は、どのような基準および条件で選出されたのか。
町長 委員の人数については、整備の核となる小松地区交流センターの運営主体である小松地区地域振興協議会を中心に、中央公民館を利用している社会教育団体や小松地区でさまざまな活動に参画している方など14人の委員を選考した。

町長 活用計画推進委員会と連携し今年12月の策定を予定している。
渡部 委員は、どのような基準および条件で選出されたのか。
町長 委員の人数については、整備の核となる小松地区交流センターの運営主体である小松地区地域振興協議会を中心に、中央公民館を利用している社会教育団体や小松地区でさまざまな活動に参画している方など14人の委員を選考した。

町長 活用計画推進委員会と連携し今年12月の策定を予定している。
渡部 委員は、どのような基準および条件で選出されたのか。
町長 委員の人数については、整備の核となる小松地区交流センターの運営主体である小松地区地域振興協議会を中心に、中央公民館を利用している社会教育団体や小松地区でさまざまな活動に参画している方など14人の委員を選考した。



渡部秀一 議員



橋本欣一 議員

SDGs

一般質問

総合後期計画にSDGsの取り入れを

町長 — 目指す方向性は同じである

橋本 SDGs（エスディーズ）は、2030年を期限に、持続可能な開発目標で、貧困を撲滅し持続可能な社会を実現するため、国連で採択されたものだ。2030年までにどのような社会にするか、である。地方自治体を取り組む施策と関連するものが多く、町の総合計画と同様の側面を持っている。総合計画後期計画（5年

間の策定に取り入れるべきと考えるがどうか。
町長 SDGsは17の目標があり、国際レベルで取り組むものが含まれており、規模や対象が違うものもあるが目指すべき方向性は共通するものがある。現在策定中の、後期計画などに位置付けられた各分野の検証検討を行っていくうえで、

SDGsの理念や考え方を踏まえて視点を盛り込むことにしている。目標の設定でも地方創生SDGsローカル指標リストを参考にしている。
橋本 SDGsの認知度を上げる方策は。
町長 認知度は全国・町内においても低い状態である。総合計画の個々の取り組み結果がSDGsにつながるのか、わかり易く表示等の工夫を行う。高齢者福祉・介護保険事業計画は

町長 目標があり、国際レベルで取り組むものが含まれており、規模や対象が違うものもあるが目指すべき方向性は共通するものがある。現在策定中の、後期計画などに位置付けられた各分野の検証検討を行っていくうえで、

SDGsの理念や考え方を踏まえて視点を盛り込むことにしている。目標の設定でも地方創生SDGsローカル指標リストを参考にしている。
橋本 SDGsの認知度を上げる方策は。
町長 認知度は全国・町内においても低い状態である。総合計画の個々の取り組み結果がSDGsにつながるのか、わかり易く表示等の工夫を行う。高齢者福祉・介護保険事業計画は

SDGsの理念や考え方を踏まえて視点を盛り込むことにしている。目標の設定でも地方創生SDGsローカル指標リストを参考にしている。
橋本 SDGsの認知度を上げる方策は。
町長 認知度は全国・町内においても低い状態である。総合計画の個々の取り組み結果がSDGsにつながるのか、わかり易く表示等の工夫を行う。高齢者福祉・介護保険事業計画は

町長 目標があり、国際レベルで取り組むものが含まれており、規模や対象が違うものもあるが目指すべき方向性は共通するものがある。現在策定中の、後期計画などに位置付けられた各分野の検証検討を行っていくうえで、

SDGsの理念や考え方を踏まえて視点を盛り込むことにしている。目標の設定でも地方創生SDGsローカル指標リストを参考にしている。
橋本 SDGsの認知度を上げる方策は。
町長 認知度は全国・町内においても低い状態である。総合計画の個々の取り組み結果がSDGsにつながるのか、わかり易く表示等の工夫を行う。高齢者福祉・介護保険事業計画は

SDGsの理念や考え方を踏まえて視点を盛り込むことにしている。目標の設定でも地方創生SDGsローカル指標リストを参考にしている。
橋本 SDGsの認知度を上げる方策は。
町長 認知度は全国・町内においても低い状態である。総合計画の個々の取り組み結果がSDGsにつながるのか、わかり易く表示等の工夫を行う。高齢者福祉・介護保険事業計画は



SDGsのロゴアイコン



役場跡地利用と一体的に検討されている中央公民館

一般質問

消防

消防団の活動範囲をどこまで求めるか

町長一人命に係る行動はさせられない



寒河江司 議員



危険が伴う水防団活動 = 洲島

寒河江 7月28日の豪雨災害で、消防団による排水作業が昼夜行われたが、消防団にはどこまでの活動を求めているのか。

町長 火災、水害等多方面で活躍してもらっているが、人命に係わる行動はさせられない。

寒河江 吸管を投げ込む作業は危険ではないか。

町長 照明が届く範囲に限界があり、作業に困難を来した。今後は、運用体制について、消防署や消防団等の意見を聞き、活動内容や設備の充実に向けて検討する。

寒河江 今年度中、県に排水ポンプを各総合支庁管内に配備されることとなったが、置賜広

町長 域で配備してはどうか。置賜広域での配備計画は賛成である。今後、配備されるように努力する。

寒河江 消防団への食料提供で自治会、自主防災組織、飲食店からの支援があったが、町の支援体制はどうか。

町長 災害対応時に昼夜におよぶ長期戦になった場合、活動状況を鑑み経費負担について検討していく。

寒河江 避難場所が浸水想定区域内に属し、避難場所に指定していない交流センターを指定したのはなぜか。

町長 今回の豪雨は、昨年の台風19号とは異なる雨雲の流れであった。降雨状況や浸水ラインを見直し総合的に考慮して、警戒レベル3避難準備、高齢者避難開始を発令し、一次避難場所として各地区交流センターに開

寒河江 避難場所が浸水想定区域内に属し、避難場所に指定していない交流センターを指定したのはなぜか。

吉村 今年の少雪で、鳥獣による農作物被害の増加が危惧されるが被害状況はどうか。

町長 町内における被害状況は、イノシシとクマによる被害が目立っており、8月末現在、イノシシによる水田や畦畔、牧草地の掘り起こし被害が12件、クマによるブドウやスモモ、ラ・フランスなどの被害が10件確認されている。いずれの被害もこれまでになり規模、内容であることから、対策を強化していく。

吉村 対策にあたっては、猟友会の現状を踏まえていく。

町長 状況は、会員の高齢化が進むとともに、年々増加する鳥獣の捕獲作業にも限界がある。財政的支援を含め、担い手の確保が急務ではないか。

町長 罾（わな）の設置や見回り、駆除、撤去などの一連の活動は平日、休日に関係なく、早朝の活動もあることなど、大変苦労されている。担い手の確保を目的に、新規狩猟免許取得者の支援、猟友会加入を促進。銃器等購入補助による支援策で負担軽減に努めている。

吉村 鳥獣による農作物被害の対策は、

町長 収集した情報に基づき、担当部署が箇所ごとに確認作業を行い、被害の全容把握、関係機関との調整等を含め対応する。

吉村 7月の豪雨災害対応は

町長 7月28日、29日の豪雨災害の対応は、

町長 地域住民の安全確保を最優先に、捕獲駆除の徹底と電気柵等の被害予防施設の導入を推進すると共に、町民、地域、行政、関係団体がそれぞれの分野でできることを確認し、地域全体で取り組んでいくことが重要。

吉村 道路の冠水は、日常の維持管理作業によって防止できないのではないかと

町長 県道及び道路側溝の破損等については、日常の道路パトロール及び各地区の要望等から把握してお

吉村 道路の冠水は、日常の維持管理作業によって防止できないのではないかと

町長 基本的な対策を講じる必要がある。国土交通省や県河川砂防課等に助言を頂き、有利な財源の研究と最良の整備手法を検討

吉村 道路の冠水は、日常の維持管理作業によって防止できないのではないかと

町長 基本的な対策を講じる必要がある。国土交通省や県河川砂防課等に助言を頂き、有利な財源の研究と最良の整備手法を検討

吉村 道路の冠水は、日常の維持管理作業によって防止できないのではないかと



冠水による水路側面土砂流出 = 内山沢

鳥獣被害の状況と対策は 町長 一 対策の強化をしていく

鳥獣害



吉村 徹 議員

一般質問

除雪業務・経費の見直しを

町長―委託業者の意見を検討協議する



伊藤寿郎 議員



万全で優しい除雪を

伊藤 待機する除雪作業員の人件費を、一定程度補償するためにはあるか。

町長 待機補償制度は導入している。体制については、除雪委託業者からの意見等を拝聴し、協議・検討する。

伊藤 除雪業者の廃業のなり手不足を聞く。除雪路線区の見直しは

あるか。

町長 長年にわたり建設事業及び除雪事業に尽力された事業者が事業休止をされた影響は大きい。除雪委託業者の協力の下、昨年度同様の路線を維持し、冬季交通の確保に努める。

伊藤 間口除雪などの高齢者住居に優しい除雪をどう考えるか。

町長 住宅の間口除雪については、注意を払うように指示している。さらに、自治会内や近隣間での協力をお願いしたい。

伊藤 時系列で整理したタイムラインを検討、着手しているか。

町長 町と町民の間で理解し行動する

共有マニュアルとしてタイムラインを導入する必要はあるか。

伊藤 昨年の台風19号被災や、7月豪雨被害の経験により、今後の災害応急計画の見直しはあるのか。

町長 台風19号における対応を検証した結果、計画の一部見直し、指示系統や連携を明確化し、業務の平準化を図った。今後とも適宜に見直していく。

高橋 4年前、5期目の出馬はしないと言ったことを多くの人から聞いている。出馬しないと発言されたら、有権者に嘘をついたことにならないか。

町長 そのような発言は記憶にない。昨年の統一地方選挙の対応は

高橋 県議選挙中に、町田市の桜祭りに出張したか。

町長 4月5日の午後に出発、一泊し翌6日のイベントに出席した。

高橋 川西から、県議の灯を消すなどという大切な選挙中だったのではないか。

町長 祝辞で、三権分立を犯す挨拶をしたか。

町長 祝辞で、三権分立を犯すような発言はしていない。

高橋 川西や長井・飯豊地域からの通勤者に対する便宜供与の観点から、一日も早い開通が待たれている。国の交付金配分が少ないことから、減額補正続きで経過しているが、

町長 虚空蔵山西線の進捗状況は

何年後の完成を見込んでいるか。

町長 事業着手から7年目を迎え、令和元年度では、50・2%の進捗率となっている。早期完成に努めていきたい。

高橋 町は用地選定にどう関わったか。

町長 山形県社会福祉事業団から町に

高橋 他の場所の検討や町への相談は

地域おこし協力隊の活用と育成を図れ

伊藤 地域おこし協力隊の定住・定着に向けた人材育成をどのように支援するか。

町長 活動や暮らしへの不安解消や地域との関わり、ネットワークづくりなど、スキルアップや活動の広がりや後押ししていく。

伊藤 農業研修生の支援の見直しはあるか。

町長 研修終了後の円滑な就農を支援するため、青年等就業計画の作成をはじめ、国の農業次世代人材投資資金や町の新規就農者支援事業等の各種制度の活用に向けて指導

助言を行っている。

伊藤 コロナ禍において、一時的に国内外の交流が止まり、地域や家族、暮らしについて足元を見つめ直し、将来を考える時期である。女性や若い人たちが仕事や子どもを安心して生み育てることなどを含め、移住定住を今後どう考えるか。

町長 信頼関係を広げ、地元の人や地元に残ることも必要と考える。

町長 地域おこし協力隊制度は、人材育成と地域力の維持、強化に向けた有効な手立てなので、地域連携で協力隊の拡大に向け情報発信に努めていく。

町長 事業団では、数カ所の候補地について検討を行ってきたが、町では用地選定の相談は受けてはいない。

高橋 経過について時系列で説明を求め。

町長 平成30年11月15日農振変更申請が提出され、令和元年5月15日変更公告。令和元年5月7日に転用許可申請が提出、同年6月20日付けで知事許可。元年7月建設工事開始、同年12月竣工、令和2年1月運営開始している。

高橋 建設された用地の歴史について知っているか。

町長 建設用地は長堀堰土地改良区が事業主体となって、昭和46年から整備されたものと認識している。

高橋 この土地は、小松地区団体営圃場整備事業で、補助金45%、県5%、地元負担50%で行われた。地元負担金が出されていない土地であることは知っているか。

町長 経過については承知していない。

町長選

5期目の出馬はないと聞いたが

町長―そのような発言は記憶にない



高橋輝行 議員



早期開通が待たれる虚空蔵山西線

補正 予算

メディカルタウン 宅地整備が動き出す

メデイカルタウン定 住促進整備事業として、今年度より宅地整備が進められて行く。整備は、町と山形県住宅供給公社との間で協定を締結し、役割分担をしたうえで進めて行く。協定では、町の役割は住宅区域内の道路や公園の整備として

立替施行は、山形県住宅供給公社が事業費を立て替えて事業を受託する制度で、宅地と道路や公園を一緒に整備することで財政負担の軽減や町職員の事務的負担の軽減が図られるなど効率かつ有効な制度となっている。立替施行に係る事業費は7400万円を見込んでおり、その支払

いは造成工事が完了し、分譲が開始される令和4年度となるため、債務負担を設定する。 **スクールの運行を民間委託** 本町では、スクールバスおよび園児バスについては、現在直営で運行している。近隣市町では、民間委託により運行されて

いることから、本町においても民間委託の有効性を検討した結果、より質の高い安全運転管理および適切な車両管理が行われるなどの

住民サービスの向上が図られるとの説明を受けた。引き続き児童生徒の通学の安全確保を図りながらスクールバスおよび園児バスの運行範囲についても検討して行くよう意見を付し、令和3年度から令和5年度までの債務負担行為を了承した。



賑わいのあるまちづくりを

= メディカルタウン(公立置賜総合病院南側)

令和2年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第6号)	145億7883万円 (2億9992万円を追加補正)	賛成多数により可決 (反対1)
国民健康保険事業特別会計(第2号)	17億2114万円 (1090万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第2号)	6億1190万円 (766万円を追加補正)	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計(第1号)	9911万円 (80万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第2号)	19億276万円 (2719万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第1号)	1億7928万円 (184万円を追加補正)	全員賛成により可決

一般会計補正予算(第6号)の主な内容

(歳出)	
広域病院運営事業 負担金	▲4506万円
水防訓練等経費 水防団出勤手当等	224万円
冬季交通確保事業 除雪費	5000万円
産地生産基盤パワーアップ事業 農業機械整備	1741万円
道路維持管理経費 工事費	692万円
財政調整基金積立金	1億5942万円
(歳入)	
普通交付税	1億5642万円
産地生産基盤パワーアップ事業費県補助金	1741万円
財政調整基金繰入金	▲6255万円
前年度繰越金	1億4641万円

主な質疑

問 財政調整基金の増額理由は。 **答** 前年度繰越金の増により積立金が増えた。

意 健全な財政運営の指針に基づき本町の標準財政規模(約64億円)の5%以上を保持すること。

問 水害対応での消防ポンプ燃料の確保及び機種によって燃料が違うが状況は。 **答** 各消防団と消防署に確保している。

意 燃料の形態はさまざまである。燃料の十分な確保と、エンジンについては統一化できるように検討すること。

問 町のマイナンバーカードの交付率は。 **答** 令和2年8月31日現在22.71%、交付率は15.1%。

である。

問 冬季交通確保事業の内容は。 **答** 除雪費を5000万円追加し、総額1億3000万円とする。

問 水防訓練等経費の計上理由は。 **答** 7月28日、29日の豪雨災害対応における水防団の出勤に対し、2日間合計687人分の出勤手当および秋季の台風時期の出勤手当の増額補正である。また、出勤手当は1人1000円である。

意 夜通し活動している団員に対しては少額なため、手当金額を検討すること。

問 公共土木施設災害復旧事業(単独)の内容は。 **答** 国の災害査定選択基準に満たない小規模災害箇所分の増額補正である。

委員会 レポート

議会運営委員会 費用対効果を考え

7月27日、新庁舎議場の設備等について白鷹町役場議場及び議会関連施設等を視察した。白鷹町新庁舎は、町づくり複合施設として令和元年5月7日に共用開始された。議場は多目的利用ができ、中会議室にできる。議席の机等は折りたたむ構造。伺った時はコンパクトにたたまれ会議室になっていた。なお、折りたたむ構造の机は割高になるとのこと。本町議会議場については、費用対効果を考えたものとなるようにしていきたい。

総務文教常任委員会 エアコン整備の現状

8月7日、教育施設の調査で大塚小学校、犬川小学校の視察を行った。大塚小学校で、昨年度整備された空調設備（エアコン）の状況とその効果について確認を行い、さらに、体育館屋根の現状確認を行った。

犬川小学校では、空調設備がまだ整備されていないことから教室内の温度や学校の対応及び授業の様子などの説明を受け、空調設備の必要性を再確認した。なお、来年度、全ての学校に空調設備整備が完了する予定。

産業厚生常任委員会 コロナ禍における経済対策を望む

7月23日、町商工会と新型コロナウイルス感染症対策について意見交換を行った。収束はいまだに見えず、町内の経済に大きな打撃を与えている。こうしたことから商工会から左記の要望が出された。

- ・ 減免措置として
 - ・ 固定資産税
 - ・ 国民健康保険税
 - ・ 住民税
 - ・ 水道料金
 - ・ クーポン券の発行等
- 当委員会としても全面的に協力し、町内経済が早期に回復していくよう努めたい。

請願

小松駅東西区域をスムーズに往来できる自由通路の整備を



自由に往来できる通路が求められている

《請願名》
「JR羽前小松駅の東西区域をスムーズに往来できる自由通路の整備推進」にかかる請願

《請願者》
東西自由通路を
実現する会

上小松 園部 義一

《紹介議員》
井上 晃一

《所管》
総務文教常任委員会

《主な内容》
現在、役場庁舎の駅東地区への移転が決定し、令和3年の開庁に向けて整備が進められているが、中心市街地のシンボルとも言える

役場庁舎の移転に伴い、人や物の流れが変わり、街中の賑わいが損なわれることへの不安の声が高まっている。一方、中心商店街の活性化に向けた現在の役場庁舎の跡地利活用の検討が進められている。新たに人の流れを生み出し、賑わいづくりを図ろうとするものだが、そのためには、JR羽前小松駅の東西区域をスムーズに往来できるアクセス機能の充実が必要である。町民の皆さんはもとより、川西町に訪れる方々の利便性を向上させるためにも、東西区域をスムーズに往来できる自由通路の整備を強力に推進するよう請願する。

《審査の経過と結果》
願意妥当で採択

《本会議》
全員賛成により可決

全員協議会

第三者調査委員会の答申

「労働時間の把握共有」に問題

全員協議会は、地方自治法で会議規則に定めることにより、「議案の審査、または運営に関する、協議または調整を行う場」として位置づけられている。

全員協議会 8月18日

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策について説明があった。
- (2) 7月28日からの豪雨災害について説明があった。
- (3) スクールバス等の運行の見直しについて説明があった。

全員協議会 9月4日

- (1) 政策提言について協議した。
- (2) 記録的大雨被害への対応に関する申入書について協議した。

全員協議会 9月8日

- (1) 行政評価結果
- (2) かわにし未来ビジョン

全員協議会 8月18日

- (1) 川西町職員の自死に関する第三者調査委員会の答申について説明があった。
- 答申では、長時間労働と、それを隠さなければならぬ状況が心理的負担となったと判断した。
- また、長時間労働に至った背景として、第三者調査委員会は、役場内に職員の労働時間を正確に把握するシステムがなく、意識も共有されていなかった点を挙げた。

全員協議会 9月16日

- (1) 行政評価結果
- (2) かわにし未来ビジョン



7月29日豪雨により土のうが積まれたが冠水 = 洲島地内

ン（第5次川西町総合計画）後期基本計画および第2期川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定状況

(3) 指定管理者の評価結果および選定方法の説明があった。

(4) 置賜広域行政事務組合議会臨時会の概要報告がなされた。

- 協議
- (1) 議員の派遣
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
 - (3) 政策提言の事項
 - (4) 政策提言までのスケジュール。以上4項目を協議した。

表紙の写真

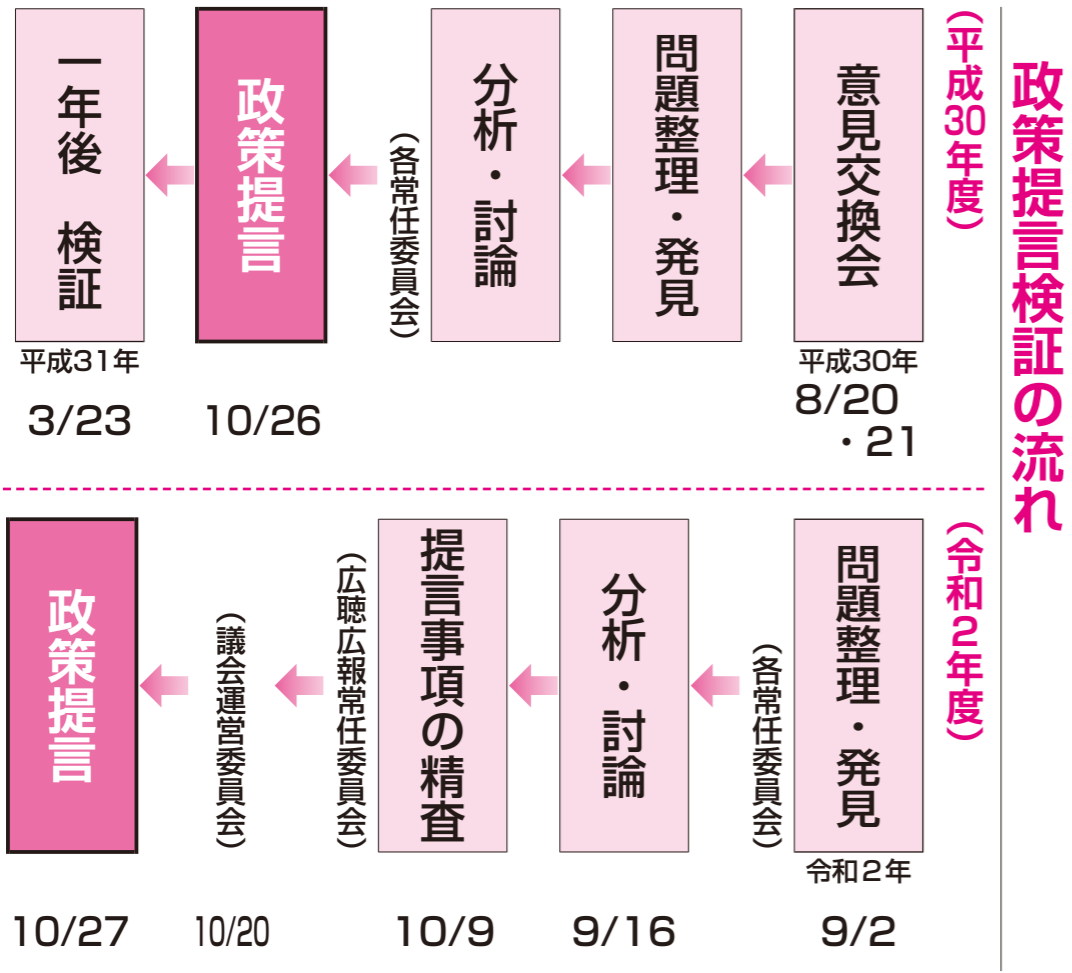


ずっしり重いぞ

9月28日、犬川小学校で稲刈りが行われた。秋晴れの当日、最高の稲刈り日和。児童全員参加のもと、JA青年部犬川支部員の方々の指導で、一株一株手刈りを行った。

犬川小学校では、5年生が年間を通して食育を含めた米作りの体験学習を行っている。また田植、稲刈りは学校行事として全校生で取り組んでいる。

乾燥した稲は5年生が掛けかえ脱穀し、全校児童で収穫感謝祭に食へることになっている。



『政策提言』会議へのご案内

第8回目の政策提言書の提出に町民の皆さんの傍聴をお願いします。

とき 10月27日(午前)

ところ 川西町議会議場

安心・安全な町に

米沢市から嫁いでまもなく6年になります。嫁いでは地域の方に声をかけてもらい、子供が産まれてからは特に気にかけていただきとてもありがたく感じています。

今年の春先からは新型コロナウイルスによる

広報モニターから

ひとこと ⑥

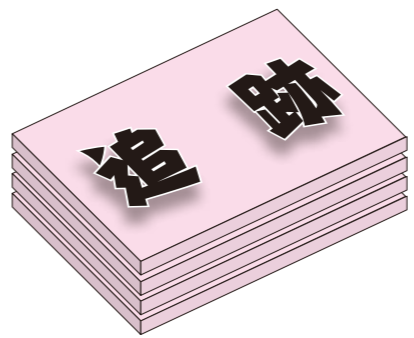
玉庭 伊藤 智子さん

り今まではない生活となり、室内での活動や子どもを連れていく場所も考えなければいけなくなりました。川西には夏場の水遊びやコロナ対策をしながら活動する室外環境が少なく感じています。子育てに親身になっていただける町なので各地区に少しでも安心して子どもを連れていける場所を増やしてもらえたらと思っています。

去年より広報モニターをさせていただいていますが、正直議会だよりをじっくりと見ず、気になるところを読むということが多くありました。議会傍聴のことも知らず、広報モニターになってからいろいろ問題点や課題があることを知り、子育てをする上で保育や学校環境にも目がいくようになった。

政策提言

川西町議会は、8年目となる政策提言を各常任委員会毎に問題を整理し10月27日に提言書の手交を行う。議会は行政に対して直接執行権がないことから、提言の施行状況を1年後に検証し評価する、全国でも数少ない取り組みである。



あれから……どうなった!

現況は

平成24年より川西バイパスの整備が開始された。現況はどうか調査した。

今年度、小松橋(矢ノ目橋下流側)・荒井橋(犬川荒井付近)の2橋を架橋している。



工事が進む犬川荒井橋付近

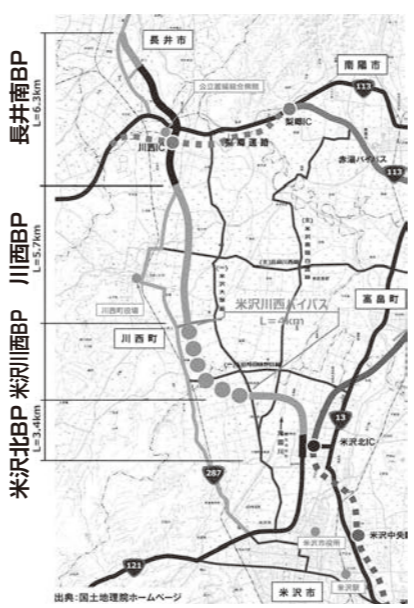
平成23年1月の「議会だより」記事追跡では、国道287号の町道移管について、平成24年10月の「議会だより」記事追跡では、川西バイパス事業開始について取り上げている。現在進行中の国道287号川西バイパス事業が、未来へつながら道路となるか、追跡した。

国道287号川西バイパス 未来へつながらる道路となるか

完成後どうなる

川西バイパス(大塚(時田)、米沢川西バイパス(時田)米沢市六郷町桐原)、米沢北バイパス(桐原)窪田町)が完成すれば、川西町から米沢市の中心部までの所要時間が15分短縮される。さらに、公立置賜総合病院へのアクセス向上が見込まれる。また、東北中央

さらに町道大正線との交差点と県道高島川西線の交差点の2つの交差点新設工事といった大変時間のかかるところを整備しているため、あまり進んでいないように見えてしまうが、着実に進んでいる。



周辺道路整備計画図 = 県土木整備部より

自動車道米沢北インターへのアクセスが容易になり利便性も向上し、置賜地域の骨格をなす道路として、長井・川西と米沢の地域間交流が促進される。

川西町としては、それだけでなく、物流も大きく変わり、観光誘客もできるのではないかと考えている。

道路インフラ整備により、町の景観も変わり、新しい道路の沿線は、やがて住宅地や商業施設等が建設される可能性も高い。町の未来がかかっているといっても過言ではない。

良い方向へと向かうように願うばかりである。県の計画では令和10年度完成の予定。早期完成が待たれる。

人事

人権擁護委員の推薦

法務大臣より推薦の依頼があったので、議会へ諮問の提案がなされた。

●貝沼 新八(再任) 玉庭

全員賛成で同意

(退席1人)

●高橋 佳子(再任) 西大塚

全員賛成で同意

教育委員の任命に同意

奥山雅広教育委員が9月30日で任期満了のため提案され、同意した。

●昆 剛雄(新任) 下小松



永松寺副住職・普濟寺住職

・曹洞宗大本山永平寺別院長谷寺指導教官

全員賛成で同意

(退席1人)

9月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	島貫 偕	伊藤 寿郎	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	淀 秀夫	高橋 輝行	鈴木 幸廣	加藤 俊一
議第65号 令和2年度川西町一般会計補正予算(第6号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議第58号 令和元年度川西町一般会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議第64号 令和元年度川西町水道事業会計決算認定について	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	-
議第74号 川西町新庁舎整備外構工事請負契約締結について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第75号 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○
諮問第3号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○
発議第6号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-

町提出案件20件、報告2件。○は賛成、×は反対。議長・予算特別委員長(予算のみ)は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

がんばる川西 紹介 ⑤

飛躍し続ける川西ソフトボール女子

今回は飛躍を続けるスポ少「川西ラッキースターズ」に齋藤真監督にインタビューしました。

結成10年目

川西ラッキースターズ(川西町ソフトボール)は今年で10年目を迎えます。元々、大塚・犬川地区にソフトボールスポ



山形に「川西」あり

区にソフトボールスポ少があり、少子化によって合併し今日に至りました。現在、川西町全域からと米沢市からの小学生女子15人で活動しています。

練習施設の整備を

発足当初は置賜地区の大会で0対40など大負けの状態が続いておりました。

このままの指導では駄目なんだと指導者も一から指導法を学び、子どもたちと共に成長してきました。その努力も実り、今では県内制覇をできるチームに成長しました。

東北ブロックは全国でもベスト3に入る強豪地区。その中、山形県のレベルは今まで散々な位置でしたが、東北と言えば山形、山形と言えば「川西」と言ってもらえるようになってきました。

まちの未来が見える(9月定例会の傍聴者は14人)

議会傍聴においでください

次回定例会は12月です



今回、傍聴の農業委員会の皆さん

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



チャンス到来。かっ飛ばせ!

要望、そしてこれから...

川西町と言えば、ホッケーが素晴らしい活動をされていますが、日の当たらない所でも同じ町内の小学生が頑張っているところも取り上げて欲しいです。

活動していく上で、特に天候に左右されるソフトボールや野球では室内練習場が必要です。当町には整備されていないため、小国町や新潟県へ出向き練習する状況です。せっかく

議会だよりを

読んでいますか
読んでます。今回取材してもらい光栄です。

町民の声を反映させて



プロフィール

橋本 千香(はしもと ちか)

住所 大字上小松
家族 夫・長男・次男
趣味 カメラ
仕事 おそば屋さん

上小松地区にお住まいの橋本千香さんに子育てや町に望むことをお聞きしました。

子育てに奮闘中

結婚を機に米沢から川西へ越してきて3年になります。

昨年まで、会社員として働いていましたが夫の家業を手伝っています。

子どもが年子ということもあり、子育てに追われる毎日ですが、家族や保育園の先生方にサポートして頂いているおかげで、毎日楽しく子どもたちと過ごしています。

第一子出産のときは、すぐ職場復帰しなければならず、中途入園ができる保育園を探していましたが、町内では全て定員がいっぱいである所がなく、困っていました。役場の方が私の職場のあった市へ掛け合ってくださいり、



家業を手伝いながら子育てを楽しんでいます

無事入園することができました。担当者の方には、本当に感謝しています。

人が来る活気あるまちづくりを

新しい生活スタイルが求められるようになり、地元で過ごすことが増えましたが、そうした時に家族で楽しめる施設やスポットがどうしても少ないように思います。川西の自然を生

かした公園や、空き地を利用して室内施設等ができれば、町内だけでなく他の地域からも人が来てくれる活気がある町になるのではないかと思います。

町をよくする意見は子どもからお年寄りまで幅広い層が持っていると思いますので、それぞれの「声」を反映する柔軟な町になってほしいです。

編集のあとで

▼令和元年度の決算審議となる9月議会。新庁舎建設、メデイカルタウン、大規模土地改良など、補助金等で財政規模増大。▼発行に向け各審議内容を確認しながらの記事編集作業と写真撮影に奔走した。▼コロナ禍で各種イベントが少ない中、表紙の写真撮影にも苦労があった。

(いのうえ)

- 発行責任者 加藤 俊一
- 委員長 伊藤 寿郎
- 副委員長 遠藤 明子
- 委員 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- 同 渡部 秀一
- 同 井上 晃一
- アドバイザー(文章) 金子 勤
- 同 佐々木賢一
- 同 遠藤 勝則
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 山田 順一